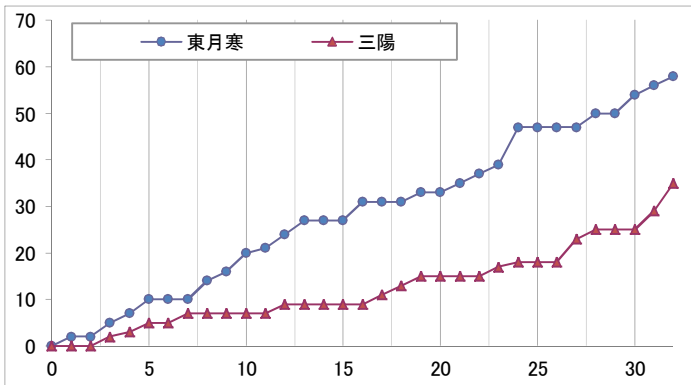




得点経過



大会名	平成27年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校バスケットボール大会																
会場	奥州市総合体育館																
日時	2015年8月23日(日)	9:30															
コート	Hコート 第1試合																
カテゴリー	女子選リーグ第1試合																
主審	秋庭 淳																
副審	富士 一弘																
TEAM A		TEAM B															
東月寒 (北海道)	58 ○	三陽 (長野県)															
	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>7</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>2</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>9</td></tr> <tr><td>11</td><td>4th</td><td>17</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	14	1st	7	17	2nd	2	16	3rd	9	11	4th	17	-			35 ●
14	1st	7															
17	2nd	2															
16	3rd	9															
11	4th	17															
-																	

BOXスコア

TEAM A		東月寒						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	阿部 月南	×	16	0	7	2	2	
5	大原 花凜	×	14	4	1	0	3	
6	菅原 亜架音	×	11	1	3	2	1	
7	平塚 茜	×	4	0	2	0	0	
8	新延 菜津子	/	0	0	0	0	0	
9	佐藤 楓	/	0	0	0	0	0	
10	岡 葉純	/	2	0	1	0	0	
11	鬼頭 姫花	/	0	0	0	0	0	
12	星川 蒼葉	DNP	0	0	0	0	0	
13	葛城 瑠奈	DNP	0	0	0	0	0	
14	松田 佳子	DNP	0	0	0	0	0	
15	大林 柊	/	3	1	0	0	1	
16	田島 若菜	DNP	0	0	0	0	0	
17	山川 萌絵	/	0	0	0	0	1	
18	岡本 美優	×	8	0	4	0	2	
コーチ								
合計			58	6	18	4	10	

TEAM B		三陽						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	萩原 萌子	×	5	0	2	1	1	
5	佐藤 妃南	×	1	0	0	1	1	
6	野上 真友花	×	16	0	8	0	2	
7	福田 美咲	×	4	0	2	0	0	
8	徳竹 沙彩	×	3	0	1	1	4	
9	三浦 凜子	/	6	0	3	0	0	
10	渡邊 菜那	/	0	0	0	0	0	
11	高遠 彩	DNP	0	0	0	0	0	
12	前島 美波	DNP	0	0	0	0	0	
13	小林 桃子	DNP	0	0	0	0	0	
14	宮原 樹	DNP	0	0	0	0	0	
15	恩田 優唯	DNP	0	0	0	0	0	
16	大澤 実鈴	DNP	0	0	0	0	0	
17	葛原 優来	DNP	0	0	0	0	0	
18								
コーチ								
合計			35	0	16	3	8	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

北海道代表の東月寒と北信越代表の三陽の対戦。1Q、互いにハーフコートマンツーマン Def。両チームとも激しいプレッシャーでなかなかシュートが決まらない。東月寒は、速いパス回しからの#5の3Pでリード。対する三陽は#6と#7のポストプレーで応戦する。東月寒#4の連続得点で14-7で終了。2Q、東月寒はDefをオールコートマンツーマンに変更、トランジションの速い展開にもちこみ#18、#6が得点し、18-7となったところで三陽がタイムアウト。ここで三陽はDefをゾーンに変更し、流れを変えにい。三陽は#6のインサイドプレーで巻き返しをはかるが東月寒は#5の4本目の3Pで流れを渡さない。31-9で前半を終える。

3Q開始早々、三陽の#4、#7が連続得点するが、互いにプレッシャーの強い好Defでなかなか得点が入らない時間が続く。東月寒がオールコートマンツーマンに切り替えてからゲームが動き出し、#4と#18が着実に加点。三陽は#6のリバウンドシュート、#5のフリースローで得点するも得点差が縮まらない。47-18で3Qが終了。4Qも互いに激しいDefが続く。三陽は、#9のミドルシュート、#8のドライブで得点し、得点差を詰めるが、東月寒は、交代した#15の3Pで応戦。最後まであきらめない三陽は、#4のドライブや#9、#6の連続得点をするも58-35の最終スコアで東月寒が勝利した。